

学年	高校3年	教科	理科	科目	化学演習	単位数	4
教科書名		化学 academia (実教出版)		副教材名	新編アクセス総合化学 (浜島書店) 化学重要問題集 化学基礎・化学 (数研出版) 共通テスト対策実力完成直前演習 化学(ラー ンズ)		
コース・クラス		選抜理系					

I 目標

問題演習を中心とした授業により、大学入学共通テスト(80%到達)や難関私立大学への受験に対応できる思考力や応用力を身につける。

II 授業のねらい

- 1 炭水化物、タンパク質、脂質を分子レベルで学び、理解を深める。
- 2 身の回りにあふれている高分子化合物(プラスチック、ゴム)などの理解を深める。
- 3 繊維、色素、洗剤を分子レベルで理解を深める。
- 4 化学基礎、化学の内容を、問題演習を通して総復習し、大学入試に対応できる力を身につけさせる。また、難関私立大学において必要な思考力、応用力を身につけさせる。

III 授業の進め方

板書、問題演習を中心とする。また、実験を取り入れ、知識の定着をはかると共に、単元ごとに大学入試の過去問に触れ、応用力を養う。

IV 学習上の留意点

- 1 常に大学受験を意識し、問題集を中心とした復習を行うことが必要である。
- 2 常に身の回りの物質、現象を意識しながら学習を進める。これにより、幅広い知識の習得を心がける。

V. 定期試験

- | | | |
|-----|------|--------------------|
| 1学期 | 中間試験 | 有機化合物 |
| 1学期 | 期末試験 | 高分子化合物 |
| 2学期 | 期末試験 | 大学入学共通テスト、大学一般選抜対策 |

VI 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物、授業への取り組み方などで総合的に評価する。

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	有機化合物の特徴と構造 炭化水素	提出物 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・有機化合物の質量分析ができる。 ・異性体を区別できる。 ・特定の官能基をもつ化合物の性質を正しく理解できる。 ・芳香族化合物の性質、合成法、用途を理解できる。 ・高分子化合物が身の回りに密接に関わっていることを理解できる。 ・全単元において、大学入試の過去問を解ける実力が身についている。
	5	酸素を含む有機化合物 芳香族化合物	実験 中間試験	
	6	有機化合物と人間生活 高分子化合物 天然高分子化合物 合成高分子化合物 高分子化合物と人間生活	期末試験	
	7	問題演習		
	9	化学基礎、化学の総復習 大学入学共通テスト・大学入試対策	小テスト 実験 中間試験	
	10	大学入学共通テスト・大学入試対策	期末試験	
	11	大学入学共通テスト・大学入試対策		
二学期	12			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。